

選ばれる地域No.1 代理店づくり!

～営業戦略編～

セブンスターズコンサルティング株式会社

代表取締役 佐々木 篤史

シニアコンサルタント 平野 芳生

48

ランチエスター販売戦略、情報提供型の購買心理学を基にした循環型セールス、営業スキル研修の3つの柱を基に保険／共済代理店、営業パーソン向けに「売れ続ける仕組みづくり」の営業力強化支援コンサルタントとして活動中。独立行政法人、中小企業基盤整備機構、実務支援アドバイザー、NPO法人ランチエスター協会認定インストラクター、一般社団法人、地域活性化推進機構登録専門家、NPO法人 リスクマネジャー・コンサルタント協会シンニアコンサルタント、金融内部監査士（IIA会員）。

<https://sevenstars-consulting.com/>

強者の戦法 「確率戦」

(図表1)
弱者と強者の基本戦略と
五大戦法

今回も、引き続き「エンジニアリング」戦略の基本戦略と五大戦法の活用について、法人営業を担当する保険代理店の営業パーソン（新人）を題材に解説をします。前回は弱者の戦法である「一騎討ち戦」について解説しましたが、今回は強者の戦法である「確率戦」について解説します。「確率戦」とは、強者の立場を活かし、「数撃てば當たる」という攻め方です。営業パーソン個人がある特定のエリアで強者の立場になることは稀有なケースと思われます。現実的には勤務する保険代理店や取扱保険会社がある地域を複数名の営業パーソンで担当し開拓することによって開拓し、増やしていく。あるいは、該当地域を川下作戦を重視するAa率を重視する一匹狼的な顧客を重視

強者の立場を活かし「数打てば當たる」 大規模かつ成長性高い市場で 重点的に営業活動を行う

代理店経営情報

シンニチ
代理店版

社の商品を拡販していくのであれば、最初は特定の商品を中心にして拡販していくとしても、早い段階で「フルライン戦略」つまり、全商品で勝負する活動に切り替えることです。

社の立場が強者である場合に活用できる戦法ではないでしょうか。たとえば、強者の立場にある保険会社の優位性が高い商品の販売を強化する場合、自身の担当エリアのなかで、市場規模が大きく、成長性の高い市場（地域）で重点的に営業活動を行う、もしくは、規模が大きい、もしくは成長している企業を重点的に訪問し、提案活動を行うことが「確率戦」です。

自社の力を重複化させることで市場占有率を上げていくという考え方です。次回は、弱者の戦法である「接近戦」について解説します。

お客様のニーズに応じて、何か商品の販売につながるという考え方です。本来、法人・個人を問わず、お客様をお守りすることが保険代理店の使命ならば、お客様が抱える全てのリスクに問わず、お客様をお守りすることが保険代理店の使命ならば、お客様が抱える全てのリスクに問わず、お客様をお守りすることが保険代理店の使命ならば、お客様が抱える全てのリスクに

弱者	強者	弱者	強者
局地戦	広域戦	一点集中主義	・事業の総合化、多角化 ・市場、顧客層、地域、商品を幅広く展開 ・物量戦（広告、流通チャネル、営業） 最高立地に最大規模の店・売り場を持つ
一騎討ち戦	確率戦	陽動戦	・ゲリラ戦（強者のしたくない、できないことをやる） ・情報戦（自社の戦略意図を秘匿する）
接近戦	遠隔戦	誘導戦	・先手を打つ（差別化） ・自社に有利な土俵に誘導（低価格競争など） ・総需要の喚起